

LEXUS NX300h/200t

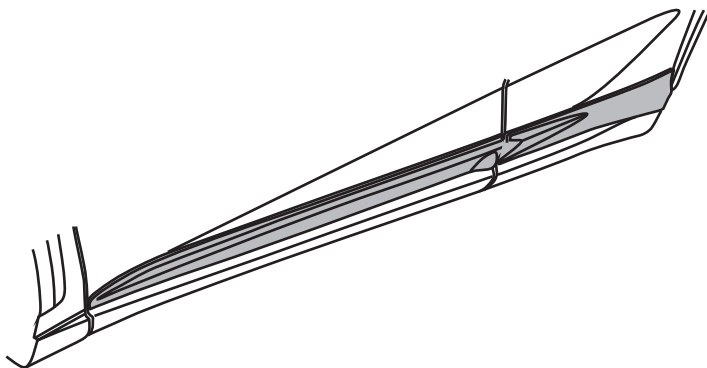
AYZ10/15/AGZ10/15 ('14,07~)



取付要領書 (LED有り)

この度は、LX-MODE 製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本製品を安全に使用していただくために、お買い求めの自動車用品専門店にてお取付けをお願いします。
本取付要領書をよくお読みの上、正しく取付けを行って下さい。
取付け後は、本書を必ずユーザー様へお渡し下さい。

■装着完成図 サイドマッドガード



付属品

No	形状	品名	個数
①		本体	1
②		電源配線(アース付)	2
③		分岐コネクター (白)	2
④		PACプライマー (赤)	1

付属品 (未塗装品のみ)

⑤		両面テープ (T=2.0mm)	20
⑥		LED本体 (R/L)	2
⑦		LED用固定ナット	2
⑧		PACプライマー (青)	1

■サイドマッドガード (車両助手席側で説明しております。反対側も同じ要領で作業して下さい。)

⚠ 注意事項

- ◆本製品は、FRP樹脂成形品です。
- ◆開梱後は、梱包内容 (構成部品表参照) の不足や破損の無い事を確認して下さい。
- ◆取付け作業は、必ず2人以上で行って下さい。
- ◆本製品は、車両及び製品の誤差により一部加工が必要な場合がありますので必ず取り付けマッチングを確認して下さい。(車両にキズ等を付けない様にテープ等で保護して下さい。)
- ◆無理に変形させると破損の恐れがありますので、絶対に行わないで下さい。また、これによって起きた破損はクレームの対象外になりますので御了承下さい。
- ◆本製品の加工、組付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社はいっさい責任を負いませんので御了承下さい。
- ◆本製品を取付け後、24時間は強い衝撃を与えたり、洗車等 (水に濡らす) を行わないで下さい。
- ◆取付け後の返品はご遠慮願います。

⚠ 未塗装品の注意事項

- ◆塗装前に必ず取り付けマッチングを確認して下さい。
- ◆製品成形上、やむを得ずバリ、巣等ができますので、塗装下処理にて除去して下さい。
- ◆塗装は必ず軟質樹脂用のウレタン系塗料を御使用下さい。
- ◆塗装乾燥は、必ず常温にて行って下さい。(熱を加えますと変形する恐れがあります。)
- ◆塗装後の返品は御遠慮願います。

■ 取付け上の注意事項

この取付要領書では安全な作業をしていただくため、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。

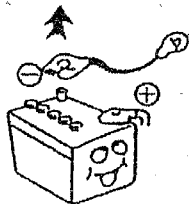
⚠ 注意 ……必ず取り付けに反映させて作業を行なってください。もし注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両故障につながる恐れがあります。

📖 アドバイス ……スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

1. 通常のキーによるエンジン始動・停止、電気式ドアロックが正常に作動する事を確認してください。
2. 車両部品の取り外しに際しては、タッピングスクリューやボルト、ナット類を紛失しないよう部品毎に整理し、復元作業時には間違いのないよう配慮してください。また、車両及び取り外した部品に傷を付けないように取り扱いには充分注意してください。
3. バッテリー復元作業終了時に、車両機能部品の初期化が必要な部品があります。作業終了後には必ず初期化作業を行ってください。

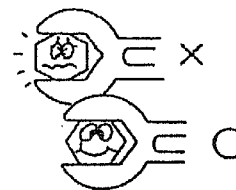
取り付ける前に

- バッテリーの(-)側ケーブルをはずす

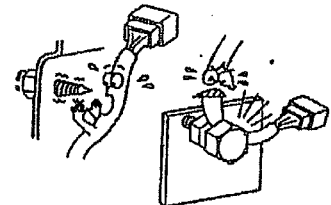


部品の取り付けは

- 寸法に合った工具を使う



- 裏側に注意する



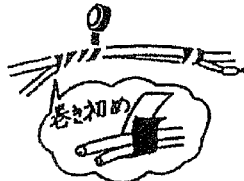
ハーネス噛み込みに注意する

配線は

- コネクターは本体を持ってはずす

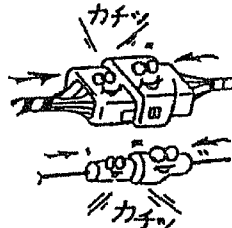


- プラプラさせない



車両のワイヤーハーネスとまとめたり、クランプを利用して固定する

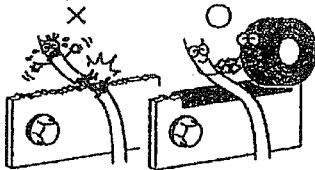
- コネクターは確実に接続



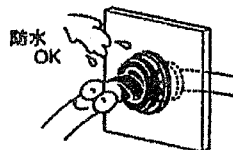
- 無理に引っ張らない



- バリ、エッジ部はガムテープ等で保護する

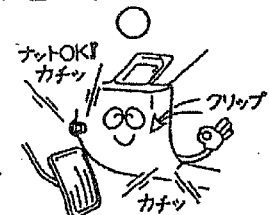


- 防水処理を行う



グロメットから配線する場合は防水処理を完全にする

- 車両部品が確実に復元できるようワイヤーハーネスを処理する



⚠ 注意

バッテリー接続中に作業を行なう場合は、エアバッグセンサー等に衝撃を与えないよう充分注意してください。

取り付けに必要な工具等

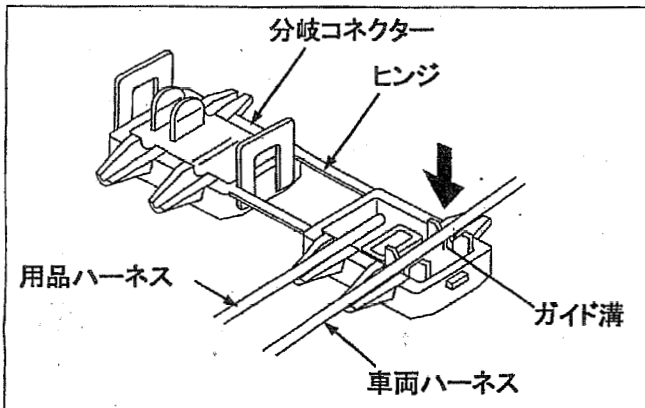
ドライバー (プラス、マイナス)、ソケットレンチ(8mm,10mm)、クリップリムーバー、ガムテープ、ニッパ、プライヤー、ブチルゴム、精密ドライバー、保護シート、針金、ビニールテープ、ウェス、ケガキ針、ヤスリトルクレンチ、はさみ

■ 分岐コネクターの接続方法

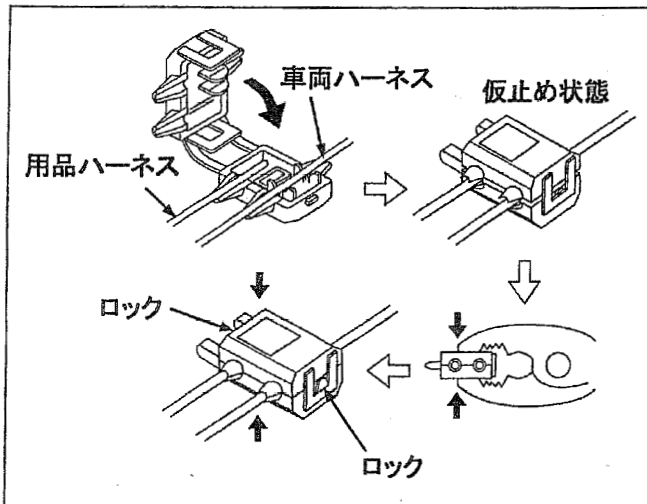
分岐コネクター使用上の注意事項

- (1) 車両のビニールチューブ等をカットする際は、車両ハーネスを傷付けないよう充分注意してください。
- (2) 分岐コネクターは、他の用品が装着されている場合でも必ず、車両ハーネスに接続してください。
- (3) 分岐コネクター接続時に、クリック音と合わせてロック（2箇所）が確実に嵌合した事を確認してください。
- (4) 接続するコネクターの端子番号及び、用品ハーネスと車両ハーネスの線色を確認し、誤った接続をしないよう充分注意してください。
- (5) 同一コネクターに複数の分岐コネクターを接続する場合は、接続位置をずらしてください。
- (6) ヒンジ部が破損しても確実にロック（2箇所）できれば性能上問題ありません。
- (7) 一度使用した分岐コネクターは再使用しないでください。誤って接続した場合、分岐コネクターを車両ハーネスに付けたまま用品ハーネスを切断し、ビニールテープで絶縁処理してください。

分岐コネクターの接続手順



- (1) 接続する車両ハーネスがビニールチューブ及びビニールテープで覆われている場合は、適量をカットしてください。
- (2) 接続する車両ハーネスを確実にガイド溝へ挿入してください。

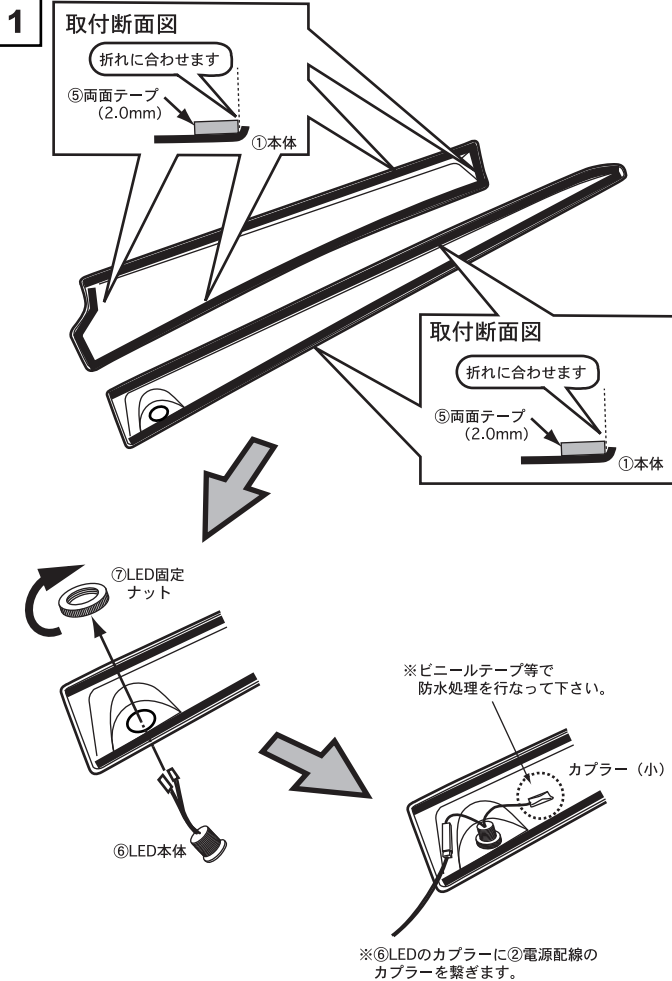


- (3) 車両ハーネスをガイド溝に収めた後、分岐コネクターを折り返し仮止め状態を作り、プライヤー等の工具を使用して左右のロックがかかるまで確実に挟み込んでください。（クリック音を確認）
- (4) 分岐コネクターの異音防止のため、ビニールテープを巻いて処理してください。

始業点検

ドアロック、パワーウィンド、ハザード等、電気系統の作動確認を実施してください。

■ 未塗装品のみ行って下さい。



- 1** (1) ①本体上部裏面の⑤両面テープ貼付け面を600番程度の紙ヤスリで軽く荒し、脱脂処理後、⑧PACプライマー（青）を使用し下処理を行います。

👉 アドバイス

この時、プライマーが貼付け面以外の塗装面に付着しない様に注意して下さい。
塗装の変色等の原因となる事があります。

- (2) ①本体裏面に⑤両面テープを貼付けます。
- (3) ①本体に⑥LED本体を差込み、裏側から⑦LED固定ナットを使用し固定します。

👉 アドバイス

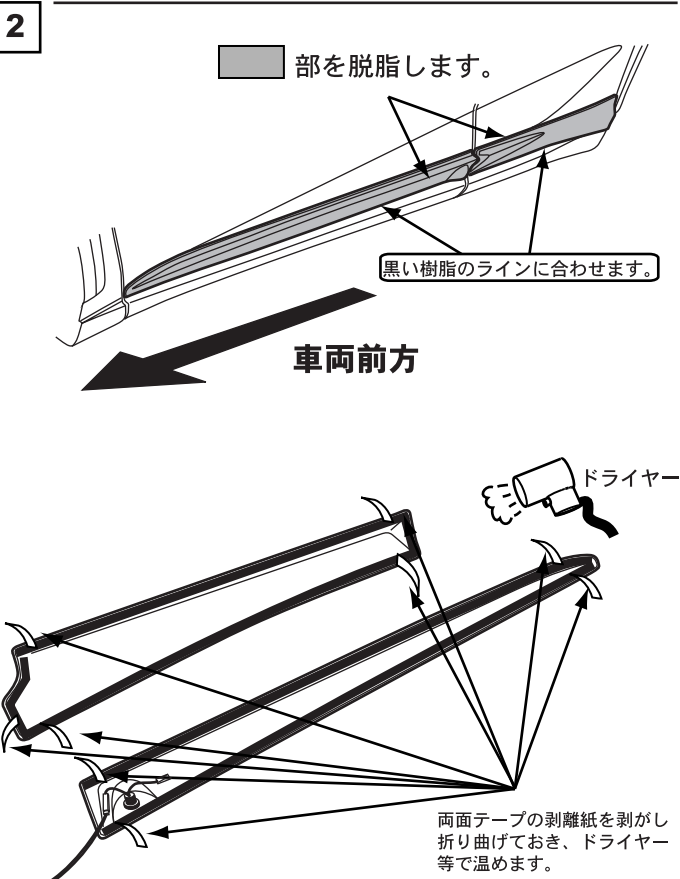
この時、⑥LED本体に⑦LED固定ナットをしっかりと締込んで下さい。

- (4) ⑥LED本体の配線のカプラーの小さい方のカプラーは、ビニールテープ等で防水処理して下さい。
- (5) ⑥LED本体の配線のカプラーの大きい方のカプラーに、②電源配線を繋ぎます。

👉 アドバイス

この時、②電源配線赤(+)の端の皮膜を少し捲り、バッテリー等の(+)に繋ぎ、黒の端子をバッテリー等の(-)に繋ぎ、点灯試験を必ず行なって下さい。

■ 取付け準備



- 2** (1) ①本体を車両に図の位置を参考に左右のバランスを確認しながら仮付けし、取付け位置を確認します。

👉 アドバイス

この時、マスキングテープ等で外周を囲む様にマーキングすると取付作業が行い易くなります。

- (2) ②(1)でマーキングした内側を脱脂洗浄します。
- (3) ②(1)でマーキングした内側を④PACプライマーを使用し下処理を行います。

👉 アドバイス

この時、プライマーが貼付け面以外の塗装面に付着しない様に注意して下さい。
塗装の変色等の原因となる事があります。

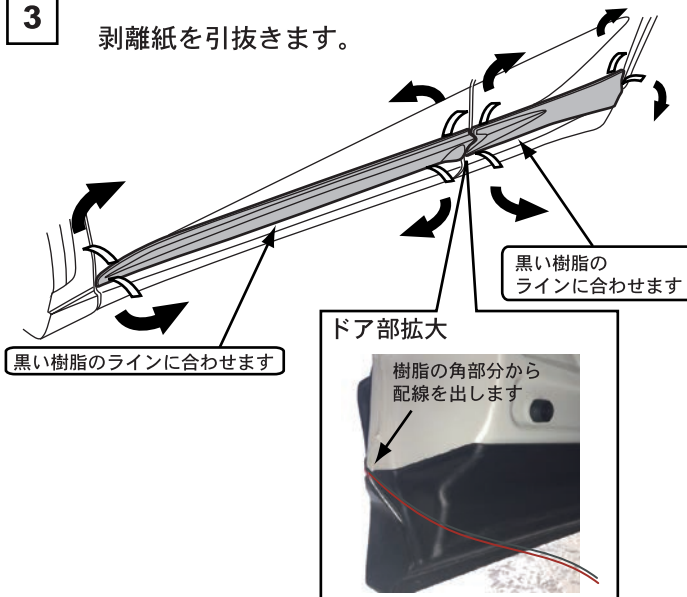
- (4) ①本体裏面の両面テープの剥離紙を、5cm程剥がし外側に折曲げておき、ドライヤー等で温めます。

👉 アドバイス

ドライヤー等で両面テープを温めると、接着強度が増します。この時、火傷には十分に注意して下さい。

■ 取付け

- 3 剥離紙を引抜きます。



- 3 (1) 2(1) でマーキングした位置に①本体を貼付け、剥離紙をゆっくり引き貼付け、圧着します。

⚠ 注意

①本体のLEDのカプラーや配線を挿み込まない様に注意して下さい。

👉 アドバイス

車両のドアパネルの下側の黒い樹脂部分のラインに添わせ、前後のドア見切りの隙間を合わせて貼して下さい。

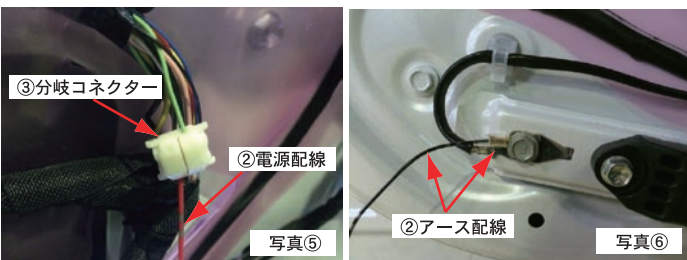
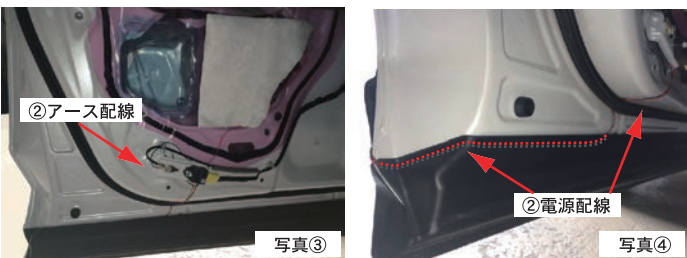
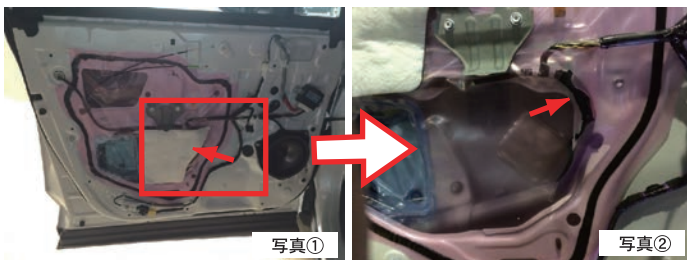
また、必ず仮付けの状態ではドアとの干渉が無い事を確認して下さい。

②電源配線は、黒い樹脂部分より取出し、ドアの内側に来る様にして下さい。

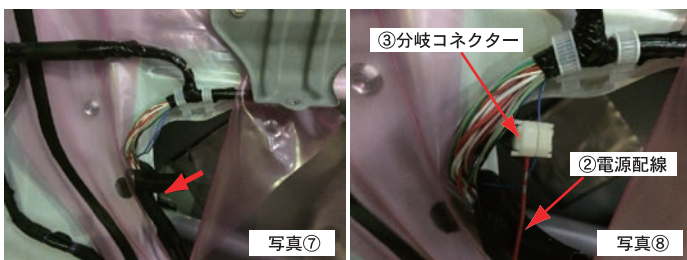
■ LEDの接続

2

■ 助手席側



■ 運転席側



2

- (1) バッテリーのマイナス端子を外します。
(2) 車両よりフロントドアの内張りを取外します。
(サービスマニュアル参照)

👉 アドバイス

ドアや内張りにキズを付けない様に十分に注意して作業を行なって下さい。

- (3) ドア内側のビニールを剥がし、車両の配線を確認し、写真を参考に配線を取り廻します。
この時、ドア下部の樹脂カバーの中に配線を隠し、ドアの中央部分より内張りの中に入る様にし、写真④を参考に、ラバークッションの内側を通して下さい。(写真①②③④参照)

- (4) 車両の配線のビニールテープを剥がし、②電源配線の赤 (+) を③分岐コネクタを使用し接続します。(別紙、分岐コネクタの接続方法参照)

■ 助手席側：黄緑 (写真⑤⑥参照)

■ 運転席側：青 (写真⑦⑧参照)

⚠ 注意

配線の色は、車両によって異なる場合があります。必ず、検電器やテスターを使用し確認して下さい。車両配線と②電源配線の極性には十分に注意して下さい。

また、③分岐コネクタは、ラジオペンチ等を使用し”カチツ”と音がする迄、確実に固定して下さい。

- (5) 車両ドア下側のアースポイントに②電源配線の黒 (-) の端子を共締します。

- (6) 車両側のスイッチを押し、手動で点灯試験を行なって下さい。

- (7) ドアの内張りを元通りに戻します。

👉 アドバイス

ドアや内張りにキズを付けない様に十分に注意して作業を行なって下さい。